

(1) 快適な公園の維持管理・運営の取り組み

① 体験型公園づくり (区間2)

- ・東西におよぶ1.2kmのロケーションを活用し、月で変わるスタンプラリーやネイチャーゲームなど公園を楽しむ来園者を増やします。
- ・ランニングやウォーキングを行う健康志向の方や、犬との散歩利用者の来園者を増やします。
- ・周囲が農村地帯の区間2で関連が高い「みどり・農・水」に関するプログラムを行います。
- ・広大な芝生を活用した地域の方が交流できるイベント創出を行います。
- ・来園者ニーズを把握した多種多様なイベントを行うことにより民間事業者との駐車場利用の競合を緩和します。



② 公園のサードプレイス化 (区間5)

- ・ガーデンファニチャーや給水スポットを設置し、サードプレイスを創出します。
- ・公園で雨天時でも利用できるサービス（教養室の空き時間活用等）を行い、天候に左右されない開かれた空間提供を行います。
- ・日よけ施設や憩いの場でスポットクーラーやコンセント利用できる場を提供し、多様な人がくつろげる空間、出会いの場の創出に寄与します。



③ ガーデンシティの具現化 (区間5)

- ・緑の管理を行うコーディネーターを中心に公園のみどりに関わる複数の市民活動がのびやかにゆるやかに関わり合い互いに尊重できるよう環境整備と組織の軸づくりを行います。
- ・複数の緑の活動団体と小さなにぎわい創出にむけたプログラムでは「生活を豊かにする寄せ植え教室」や「球根の掘り起こし体験」、「草花ワークショップ」などの緑をテーマに連携し、公園の機能を活用した充実したプログラムの開発につなげていきます。
- ・ガーデンストリートを発展させ、滞留空間創出のためのガーデンファニチャー設置や

- ・「植物」をテーマに発信力のあるガーデナーやアーティストによる作品でまちと公園をつなぐ”グリーンアートインレジデンス“の検討など文化的価値を生み出します。



- ・ガーデンシティくさつを目指しベランダ緑化推進として、限られた場所でも最大限にみどりを楽しめるようなガーデニング教室などの実施を行います。
- ・コミュニティガーデンやココリバガーデンで活動する「グラッシー」については、まちづくり株式会社とも連携して支援します。また、湖南農業高校を始めとする学校団体や近隣幼保園とも連携を行います。
- ・市民活動としてバラ愛好家による「くさつロザリアン倶楽部」の取り組みを継続し、市民の自主的な活動によってバラ園が美しい市民の場として維持管理されるように支援します。
- ・区間5の堤体にあるソメイヨシノは草津市民の心の拠り所です。旧草津川のシンボルでもある桜並木を次世代に引き継いでいくため、長期の市民活動として「さくらファン倶楽部」を引き続き支援します。
- ・くさねっこによる公園資源を循環させる「堆肥作り」の取り組みや、アゲハ街道など多様な生物の「住処づくり」の活動支援を継続します。

- ・

(2) 公園における多様な主体による活動支援の取り組み

① 地域との協働（区間2）

- ・地域の伝統と文化に触れ合える語り場やプログラムを実施することで新しい文化の種を生み出します。
- ・近隣住民が農を通してふれあい、草津市の環境・食・文化の継承を行えるプログラム開発を図ります。
- ・移動図書館の回数を増やすことにより公園の図書館化を図り、まちライブラリーのように市民と共に集まる場とします。
- ・教養室を「認知症カフェ」の開催や「絵本の読み聞かせ会」など使用できるようにすることで地域住民が集まりお話をできる場とします。

② インクルーシブな公園（区間5）

- ・共に何かを協力して行うという経験を通して市民同士の交流を図るため、料理教室やお茶会などのプログラムを行います。
- ・犬の散歩利用者と一般利用者の互いの理解を深め、過ごしやすくするため、マナーアップ協力隊の認知度アップへの取り組みやしつけ教室等事業者と協業した取り組みを行い「dog friendly park」を作り上げます。

- ・草津まちづくり株式会社と連携することで「COCOLIVA 事業者が持っているスキルを活かし市民に提供する」機会を創造します。例として「地元食材や公園にゆかりあるハーブを使った料理教室」を実施することで、公園での学びを自宅に持ち帰るような「まちと公園がつながる仕組み」を検討します。

③ 公民連携緑化（区間5）

- ・公園の剪定枝や花を利用した工作スペースの開放を行います。
- ・ガーデンストリートを発展させ、滞留空間創出のためのガーデンファニチャーを設置します。

- ・みどりによる文化的価値をうみだすために有名アーティストによる作品でまちと公園をつなぐ“グリーンアートインレジデンス“やガーデナーによるモデルガーデンの設置を行います。
- ・ガーデンシティ草津を目指しベランダ緑化など、限られた場所でも最大限にみどりを楽しめるガーデニング教室の実施を行います。
- ・みどりを共に育む仕掛けとして自然と触れ合うことのできる機会を増やします。



(3) 民間事業者のノウハウを活用した集客や自主事業の取り組み

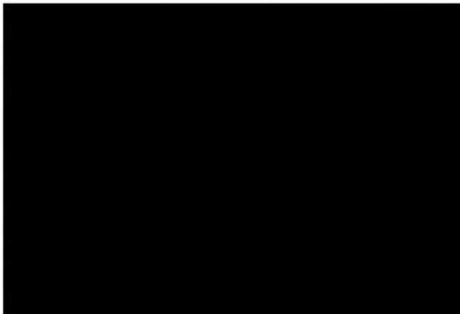
① 規制緩和による柔軟な活動の場の創出（区間2）

- ・公園の使いこなしを検討するために、公園でキャンプ体験できる日や焚火・花火など火気利用を市民と考える機会の創出を行います。
- ・日中利用だけではなく夜間の観察会プログラムなど草津市の自然を体験する機会創出を行います。
- ・動物飼育に向けて移動ふれあい動物園の誘致等を行い、体験型プログラムを増やし市民の関心を高めます。
- ・農の循環を図るべく動物やミツバチの飼育検討を行います。



② カルチャーパーク化（区間5）

- ・新しい知識、人との出会いを創出するため「Park in Library」の推進を図ります。
- ・移動図書館のほかに、にぎわい活動棟内や定期的に屋外で本を読めるような環境を整備し、草津市読書のまち推進計画の具現化を図ります。



- ・宿場町の面影をもつ商店街と公園をつなぐため、公園に「屋台通り」の常設を図り、
- ・人とモノ・文化の出会いが増える仕掛けを行います。
- ・「屋台通り」にむけ、コンテナブースに地域のお店を一定期間ごとに誘致し、公園に豊かなアクティビティや賑わいの創出、地域に還元する仕組みづくりを検討します。

③ パークブランディング（区間5）

- ・草津まちづくり株式会社に美しいみどり空間を創出することや具現化のために協業を依頼することで草津川跡地公園があるからこそ草津市の価値が高まるという理解を啓蒙します。
- ・草津市の良さ、文化を伝え広めるために草津市の公園とまちをつなぐ歴史探索会の開催を検討します。
- ・まちなかの空き店舗や放置自転車がおいであるような路地をガーデンファニチャーの設置やみどり空間の創出を行うことで市街地がみどり豊かな空間となるよう働きかけます。

(4) 長期包括契約を生かしたサービスの継続的改善やコスト削減に向けた取り組み

① 長期包括契約によるスパイラルアップ（区間2）

- ・ 定期的・継続的なイベントを行うことにより人と人との定期的な出会いを生み出します。
- ・ 農業に関連する動物と触れ合える機会を提供することで動物と生活の関係を伝えます。
- ・ 年間を通じた四季・八季に合わせた年中行事を行い、草津の文化を市民と作り上げます。
ネイチャーゲームや季節イベントなどの小規模なにぎわいを繰り返し実施することにより、子どもたちの原風景となる体験を生み出します。
- ・ イベント毎にアンケートを行い、市民の声を反映し続けます。
- ・ 多種多様な移動手段を検討し区間2と区間5を移動できる仕組みづくりを実現します。



② 紡いで育てるチャレンジ（区間5）

- ・ 公園のにぎわいをまちににじみ出すことで、古くからある草津市の資産の活用につなげます。
- ・ 公園における市民活動の発信とまちの魅力発信のそれぞれのサイトに相互 QR をつけるなど公園とまちをつなぎ、相乗効果による草津市の魅力増進を行います。
- ・ 関連しあう公園とまちの魅力を互いに紡ぎ育てることができるよう公園からの案内やパンフレットの置き方など細やかな工夫を行います。



③ グリーンインフラネットワーク（区間5）

- ・公園の昆虫や家庭でみどりを育てる講演会を開催し自然環境に興味を持つ市民を育てます。
- ・人が集まりまちに潤いのある場をつくるためまちなかにみどり豊かな空間の創出を検討します。
- ・グリーンインフラを維持するためみどりの管理に興味がある市民を増やします。
- ・草津まちづくり株式会社と連携してまちなかに雨庭やバタフライガーデンなどの昆虫ネットワークの創出を検討します。
- ・自然の豊かさや公園運営に興味を持つ市民を増やすことで、市民共働型で雨庭の設置やバタフライガーデンの創出検討を行います。
- ・まちの空きスペースや人が集う場所で剪定枝など公園資源を活用した工作スペースを開設します。



